

横浜国道事務所の電線共同溝工事で初の 「見積りの提出を求める方式」を試行

記者発表資料

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないなどの理由により、入札の取りやめや不調となる工事が多発しています。

この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積りの提出を求める方式』を試行しています。

今回、横浜国道事務所の電線共同溝工事では初の「見積りの提出を求める方式」による発注手続きを行います。

対象工事は、「鶴見中央電線共同溝工事」です。

鶴見中央電線共同溝工事は、交通量が多い市街地で、占用企業者との調整や地下埋設物との近接施工が伴う現道上での工事であり、制約条件が多く厳しい現場のため、施工にあたっては作業効率が低下する事が考えられる事から、入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積りを求める工種は、過去に入札不調となった工事の実績を踏まえています。

平成20年1月17日
国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 課長補佐 石鉢 盛一郎 （電話 048-600-1331）

技術調査課 課長補佐 浅古 勝久 （電話 048-600-1332）

横浜国道事務所 電話 045-311-2981

副 所 長 星野 辰雄 （内線204）

共同溝課長 千野 啓次 （内線481）

《見積りの提出を求める方式の工事概要》

工事概要【鶴見中央電線共同溝工事】

（１）見積りの提出を求める工種

直接工事費、共通仮設費、現場管理費

（２）見積りの提出を求める理由

今年度、横浜国道管内の電線共同溝工事が３件不調・取りやめとなっており、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが伺えることから「見積りの提出を求める方式」を試行するものです。

（３）工事概要

- 工事場所： 自）神奈川県横浜市鶴見区市場大和町
至）神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央３丁目
- 工期： 約７３０日間
- 入札方式： 一般競争 総合評価方式（簡易型）
- 工事種別： アスファルト舗装工事
- 工事規模： A等級
- 工事内容： 本工事は、一般国道１５号横浜市鶴見区市場大和町から鶴見中央３丁目の延長約７８３ｍにおいて、電線共同溝の本体布設を施工するものである。
当該地区は、ＪＲ京浜東北線鶴見駅及び京浜急行本線京急鶴見駅の近傍に位置し、地形は平坦である。沿道状況は、低中層住宅及び商店等が連担しており、車線構成は４車線で、交通量は約３万４千台／日である。
- 概算数量： 工事延長 L＝７８３ｍ、開削土工 １式、
特殊部布設工 ４７箇所、電力管布設工 約３，３２０ｍ、
通信管布設工 約１，２３２ｍ、仮復旧工 １式、
仮設工 １式、車道舗装工 １式、雑工 １式

（４）総合評価

- 標準点：１００点 最低限の要求条件
- 加算点： ２０点 下記の評価点 ～ の合計の最も高い者を２０点とし、他の者は評価点により按分する。

工程管理に係わる技術的所見

- ・工期短縮を踏まえた工程管理について

施工上の課題に対する技術的所見

- ・電線共同溝の本体埋設後の復旧に対する施工管理について

施工上配慮すべき事項

- ・ケーブルの導通性を確保する管路部敷設の施工計画

（５）スケジュール

入札公告：平成２０年１月１８日

入札日：平成２０年３月１０日